

○ 令和7年度グループホームマザーズガーデン外部評価 令和8年1月28日(水)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事務所、ユニット内に法人理念・運営方針を掲示し、各セクションで理念に基づいた目標を掲げ、達成に向けて実践している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の祭りの参加や昔から利用していたなじみの店での買い物、地域のボランティアを受け入れ地域の情報を伝えてもらう等して、住み慣れた地域で暮らしていることを感じていただけるよう努めている。	地域の力が弱まっている。施設との共同を行いたいため連携したい。 マザーズガーデンの認知を高めるためにも地域のボランティアの受け入れは良いと思う。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近況報告や施設での取り組み、感染症対策について発信している。いただいた意見はサービス向上に活かしている。運営推進会議を通して地域への福祉サービス説明会を企画している。	地域包括支援センターにおいて介護保険や施設について説明している。施設職員からの説明があってもいいため次年度の計画を確認したい。 会議の内容の共有はどのようにしているか？ →各セクションのリーダーを参集して行う会議を月1回開催し共有している。また、各セクションごとの会議でも共有し周知している。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会や個別の電話相談を通じて連携を図っている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束廃止委員会を通じ、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。また、年4回不適切ケア確認月を設け、身体拘束に繋がるケアを抑止している。事業所が2階に位置し、階段があるため電子錠を使用しているが、テラスの周回や日々の散歩により閉塞感を軽減している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設全体で事故防止・虐待・身体拘束防止委員会を毎月 第1火曜日に実施し、ホームからは1名の職員が委員として参加している。不適切ケア確認月を年4回実施中で6月、9月、12月、3月に実施している。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	法人で定めている虐待防止マニュアルに基づき、事業所内で虐待がおきる事のないよう防止に努めている。年4回不適切ケア、グッドケア確認月を設け、虐待に繋がるケアを抑止している。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	千葉県や柏市が主催する権利擁護に関する研修等に参加している。また社内でも運用できるように随時取り組んでいる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修の参加や自己研鑽することにより権利擁護に関する制度理解に努めている。		
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居契約時は重要事項説明書をもとに十分な説明を行い、不安や疑問に答え、理解し納得していただいている。改定の際も説明を行い、同意を得ている。		
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議や来園時の窓口でのコミュニケーション、電話を通じて意見、要望を伺い、運営に反映させている。また、家族会の設立を準備し、意見、要望を取り上げやすい仕組みづくりをすすめている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	感染症対策の緩和により面会の頻度が増した。面会の際に意向や要望を確認する事ができている。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ユニット会議やリーダー会議を通じ、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。また、人事考課や契約更新時に面談を行っており、個人の意見を聞く場を設けている。		
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課の中で職員が個々に目標を設定して取り組み、キャリアパスをしていけるように整備している。		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護技術を項目別に手技をまとめたチェックシートを使用し、一定のレベルの介護技術の習得に繋がるよう努めている。また、会議を通じ認知症理解や疾病の知識習得を行っている。法人内外の研修を受ける機会を設けフィードバックしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修会の開催や参加、チェックシートの活用等で介護スキルの向上に常に務めている。引き続きスキルの研鑽に努め利用者が更に安心して生活出来るホーム作りをして欲しい。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	グループホーム連絡会や各団体で行う交流会、研修会に参加することで、他事業所との交流を深めている。随時情報交換しサービスの質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切な距離感で接することで認知症の進行予防と生活の質の向上ができています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの関係を築き、信頼される行動に努めている。今まで使用していた家具や愛着のあるものを持参していただいている。			
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービス開始前に訪問調査を行い、生活歴、趣味嗜好を把握している。その後も適宜、意向を把握し生活環境を整えている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師の指示やユニット会議で必要なケアを話し合い反映し、変更がある際は迅速に対応し家族にも承諾を得ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、実践モニタリングを記録し、毎月のユニット会議でカンファレンスを行っている。ケアマネジャーを中心に、本人、家族の要望を取り入れた介護計画を作成している。利用者ごとの目標を意識しながら支援と記録に努めている。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日、日誌やケアパレットにケアの情報の書き込みや入力を行い医師の訪問診療時に統計表を提出し情報共有を行っている。また、実施モニタリング表を活用し毎日チェックを入れ振り返りに使用している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護支援システムを導入した事によりスタッフ間での情報の共有がスムーズになっている。また記録へ費やす時間を軽減でき、より介護に割ける時間を増やしている。医師との連携にもうまく活用できている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在の検討課題である。状態の変化時に対して気付く力に関して伝えていく。また、情報収集も個人でも行うよう指導し柔軟に対応できるように各自の努力が必要である。			

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会時、家族とともに施設外周の散歩や移動パン屋の利用、外出し買い物をするを行い、少しでも心が満たされるよう工夫している。	近隣の発展に伴い活動を増やしていけるとよい。歩いて行ける店に行くことができる環境が望ましい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者全員が訪問診療医と契約し、月2回受診している。訪問看護師は週2回来訪し、健康チェックの情報を主治医と共有している。体調不良時には24時間のオンコールによる指示と臨時の訪問が受けられる。状況により、訪問精神科医、訪問歯科の受診ができ、医療体制は充実している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院時には入院情報提供書を作成し、病院へ情報提供している。主治医には病院への診療情報提供書を作成し送付してもらえるように連携を行い、病院のソーシャルワーカーとも連携を図り状態の把握に努めている。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合について、入居時に施設の指針を説明し同意を得ている。状態の変化に応じ関係機関と連携を取り、本人や家族の希望を踏まえ、より良い選択ができるよう支援している。終末期ケアに関しては特養と連携している。グループホームとしても体制を整備している段階。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	重度化した場合について、入居時ホームの指針を説明し同意を得ている。状態の変化に応じ関係機関と連携を取り、本人や家族の希望を踏まえ、より良い選択ができるよう支援している。	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	緊急時対応マニュアルを作成しており、マニュアルに沿って行動できるように努めている。社内研修やユニット会議にてシミュレーションを行い、実践力を高めている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社内研修や消防署員立ち合いのもと、消防訓練を実施。非常災害のシミュレーションを行い、防災に対して理解を深めている。	地域の消防訓練の案内をして参加できるようにする。地域との共同を増やしたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害時の避難マニュアルに沿って職員はシミュレーションを行い、咄嗟の行動に活かせるよう努めている。法人の防災計画があり、定期的な避難訓練を実施し職員の防災意識の向

							上を図っている。新型コロナウイルス感染症対策についても、感染症対策委員会にて対応策をマニュアル化し、共有している。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は一人ひとりの人格、意思を尊重して日々の対応について、自己の振り返りを行っている。笑顔を絶やさず利用者と接し、否定的な言葉を使用しない寄り添う支援に取り組んでいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員は一人ひとりの人格・意思を尊重して日々の対応について、自己の振り返りを行っている。笑顔を絶やさず利用者と接し、否定的な言葉を使用しない寄り添う支援に取り組んでいる。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「横になりたい」等の訴えがあるときはそれぞれのペースに合わせて休んでいただくことや、遅らせて食事をとることをしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者と食事の準備、片付け等を日常的に行っている。行事食、出前、嗜好品の差し入れなど変化することも、利用者に好まれている。個々の咀嚼嚥下能力を把握した食事、口腔ケアを促し、出来る限り自分の口で食べられるよう支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者と食事の準備、片付け等を日常的に行っている。行事食、出前、外食など変化することも、利用者に好まれている。個々の咀嚼嚥下能力を把握した食事、又口腔ケアを促し、できる限り自分の口で食べられるよう支援をしている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事量、水分量、体重を把握し記録に残している。摂取量が少ない方には摂取しやすい形態に変更し、提供方法を工夫している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを促しており、必要な方には、仕上げ磨きをしている。スポンジブラシ等、利用者に適した口腔ケア用品の活用や訪問歯科医から助言をもらい口腔ケアに活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	訪問歯科と連携して計画的に行っている。スタッフへの研修、指導も行ってもらっている。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ケアパレットを活用し排泄パターンの把握による見守り、誘導をしている。利用者の自尊心に配慮した支援に		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護支援システムを導入し、一人ひとりの排泄パターンを把握し見守りや誘導をしている。利用者の自尊心に配慮した支援に努め、自立した

		にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる		努め、自立した生活が維持できるよう取り組んでいる。			生活が維持できるよう取り組んでいる。また介護用品の業者による排泄に関する研修も行っており理想の排泄ケアに向け取り組んでいる。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の希望や体調に合わせ、週2回個浴の入浴を楽しめるよう努めている。好みの湯温や入浴剤、音楽を流し、職員との会話を楽しみ、ゆったりとした気分で入浴できるよう配慮している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の習慣や体調に沿い、個々のペースで過ごせるように努めており、リビングでも休息できるようにリクライニングチェアやソファを設けている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全職員が薬表ファイルを確認できる状態にしており、変更があった際もすぐに周知できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬表ファイルで管理し全スタッフで共有し服薬支援を行っている。毎食ごとの薬の用意も配薬ボックスで管理し誤薬が起こらない様な工夫も行っている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活歴を把握し、それぞれの能力に合った役割をさせていただき、達成感につなげられるように工夫している。嗜好品のニーズも確認している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策緩和により外出行事を行えるようになった。希望を聞き、行きたい店に外食に出かけることをしている。施設周辺が自然豊かで散歩道ができているため、日常的に散歩をしている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自己管理している方は散歩時に自動販売機で好きな飲料を購入している。施設管理している方は、必要時に職員管理のもと買い物をしている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	近況を電話やメールにて知らせる機会を作っている。定期的に近況報告の手紙を写真付きで郵送している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	季節感を感じていただけるように、季節ごとのしつらえを工夫している。利用者同士の関係性を考慮し、座席の配置を工夫している。また、感染症対策の消毒や除湿、加湿に配慮し居心地の良い空間づくりを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	リビングは、季節感を出す工夫をし、行事の写真やクラブ活動の作品が飾られている。入居者同士の関係性に配慮して、ソファや座席を工夫している。コロナ対策としてホーム内の清掃、消毒、換気と利用者も一緒に感染予防に取り組んでいる。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自身のペースで趣味嗜好が反映された生活が出来ている。希望に沿った外出行事や買い物を行なっている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	サービス利用前の訪問調査やアセスメントにより生活歴等を把握し、ケアに活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護、医療の両側面から判断し健康面や住環境に配慮している。			
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	共同生活の中でも、自身のペースにあった生活を提案することが出来ている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自宅で使用していた家具や趣味の品を持つことや、ピアノや絵画の道具を持参されている方もいる。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室へご家族との思い出の品や好きだった物、仏具等を持ち込んでいただき出来る限り今までの生活の延長線上にホームでの生活があるように努めている。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染症対策緩和により飲食を伴う外出も可能となり実施している。地域のイベントや祭りへも参加している。又、散歩や施設内の催しに参加。2階で階段があるため戸外に出る際には職員が付き添っている。	日常的な会話の中で意向に沿って行うことができているのは良い。利用者の意欲を高める活動を合わせて行えると良い。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 十分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の日課において利用者一人ひとりが状態に合わせた役割を持っている。分からないことも利用者同士で声を掛け合い解決している場面もある。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士の会話を引き出すことや一人ひとりが主となる機会を作るよう配慮している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お一人お一人に役割を持っていただき生き生きとした生活を行っていただける様に努めている。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 十分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会や見学を通しての関わりをしている。地域の行事に参加することで関りを増やし活性化につなげている。令和7年は消防訓練、納涼祭、運動会に参加。	地域の活動のお知らせをしてできる限り参加できるようにする。施設の行事も地域に向けて発信していきたい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安心して生活できていると感じ、職員との関係性も良好。外出や各種行事を通して楽しみを見つけ共有している。	クローズ(閉鎖的)にならず、地域と接しオープン(開放的)な施設運営ができていると感じる。自治会についても同様の課題がある。施設も地域にとって必要で大切な資源。今後も交流が必要。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームへの入居前は入浴拒否や昼夜逆転、帰宅願望等の行動障害があった方もホームに入居しコミュニケーションをしっかりとることで改善され皆様と笑顔で過ごされる様になる。しっかり一人ひとりのご利用者に向かい合い適切なコミュニケーションを取っている結果だと思う。